

日本ビジネス実務学会 第35回全国大会のご案内

(第1号通信)

拝啓 新しい年を迎え、会員各位にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、日本ビジネス実務学会第35回全国大会につきまして、プログラムの概略が決まりましたので、ここにご案内申し上げます。

昨秋の会報が送信された際に、ちらし様式の案内を同封いたしましたように、今年度は中部ブロックが大会担当となり、会場につきましては、北陸新幹線開業に伴い、北陸開催の要望が強く、石川県での開催となりました。

2016年6月11日(土)・12日(日)の2日間にわたり、白山市と金沢市の両市内で開催いたします。統一テーマは、「地域と連携したビジネス実務教育」でございます。この統一テーマは、2015年大会終了後に掲げられたものでございますが、この1年間で、地域連携教育は大きく前進し、今年度のテーマとして、まさに時機に合致したものと考えております。

大会実行委員会では、このテーマを受け、地域や産業界を代表する方々を講師やパネリストとしてお招きする「公開プログラム」を設けました。本学会の会員に留まらず、北陸の地域・産業界にも広く呼びかけ、様々な立場の方々が集い、従来とは異なった雰囲気の中での情報共有や交流の場になればと願っております。

また、本学会員の研究発表につきましても、新たに「ポスター発表」を加え、先生方の教育実践などが気軽に発信され、参加者同士が親しく情報交換できるような場作りに努めたいと存じます。

開催日の6月11日・12日は、金沢百万石祭りの翌週ではございますが、金沢は常時賑わいを呈し、宿泊施設はなかなか予約できず、料金も高騰しております。

このような状況でございますので、先生方のホテル予約などに支障が出ないよう、当地の旅行社を代理店として手配いたしました。諸事ご多用とは存じますが、ぜひとも今から大会日程をご予定にお組み入れくださり、有意義な2日間をご一緒させていただければ幸甚に存じます。

まずは、第1号通信としてのご案内と共に、ご発表応募とご参加のお願いを申し上げます。

敬具

2016年1月25日

日本ビジネス実務学会
第35回全国大会
大会実行委員会
委員一同

日本ビジネス実務学会 第35回全国大会の概要

大会統一テーマ：「地域と連携するビジネス実務教育」

文部科学省は、大学教育改革を推進するため、大学等が実施する優秀な教育取組に対する支援事業を平成15年度に開始しました。それを「GP (Good Practice)」と呼称し、複数種類のGP事業が実施されました。それらの支援事業は、大学が個別で行う取組から、大学間や地域・産業界との連携事業へと次第に形態を変化させ、今日に至っています。加えて、平成26年度には、大学教育改革の推進を加速させるために、「大学教育再生加速プログラム (AP)」という新たな取組が作られました。更に、平成26年度からは、大学が地方公共団体や企業等と協働して、地域が求める人材養成に対する教育改革取組を支援するという「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC)」が始まり、平成27年度には、同一地域に関係のある大学等も参加して、大学、地域、産業界の全てが連携する地方創生推進事業の第二弾「(COCプラス)」が実施されました。

このような大きな教育改革の潮流の下、ビジネス実務教育においては、キャリア教育を基盤として、「就業力」や「社会人基礎力」の育成充実を目指し、インターンシップの質向上、アクティブ・ラーニングやPBL (Project Based Learning/Problem Based Learning) の教育技法の開発など、さまざまな取組が展開されています。昨年度の第34回全国大会においては、「ビジネス実務教育の新たな展開」を統一テーマに、本学会の会員諸氏によって多くの研究成果が発表されました。

そして、今、「地域と連携するビジネス実務教育」をどのように推進すれば、その地域が求める人材養成に適うのか、学生にとって魅力ある就職先の創出をすることができるのかが問われています。

日本は、世界中のどの国も経験したことがない、超高齢少子社会に突入しています。また、働き方や家族のかたちも多様になってきています。職業の未来についても、今後10年から20年ほどで、現在ある職業の約50%の仕事が消滅し、20年後の若者は、今は存在していない職業に就く可能性が高いという研究もされています。

しかし、どのように職業の種類や働き方が変化しても、人は職業を持ち、夢や可能性を織り込んだキャリアを重ねながら、それぞれの人生を切り開いていきます。

ビジネス実務教育は、職業社会がどのように変化しても必要な「就業力」や「社会人基礎力」という汎用能力の育成を担っているものと自負すると共に、教育界だけの考えに偏ることなく、地域や産業界と連携し、共に育てる教育へと変容できる意識と努力が必要であると考えます。

第35回全国大会は、北陸新幹線開業に伴い、北陸開催への強い要望により、金城大学・金城大学短期大学部が事務局をお引き受けしました。

幸いにも、北陸の地域や産業界を代表する方々を講師やパネリストとして招聘すること叶いましたので、有益な知見や情報をご提供できるものと存じます。

また、研究発表につきましては、従来の口頭発表に加え、実践報告などを気軽に発信できるポスター発表も実施いたします。若手の先生だけでなく、キャリアを積まれた先生方が次世代に知をつなげる場としてもご活用くだされば、本学会35年の実績に相応しい大会になると存じます。皆様のご応募ご参加を心よりお待ちしております。

大会実行委員長
岡野 絹枝

1. 大会日程及び会場

2016年 6月11日(土)・12日(日)

■ 1日目：6月11日(土) 10:30～17:00【会場：金城大学笠間キャンパス(白山市)】

- 2016年度 総会 (10:40～11:30)
- 白山市からのウェルカムスピーチ【公開】(11:40～12:10)
「白山市の地域振興と産学との連携」
白山市長 山田憲昭氏
- 研究発表/ポスターセッション (13:30～17:00)
- 懇親会 (18:30～20:30)【会場：ANAクラウンプラザホテル金沢(金沢市)】

■ 2日目：6月12日(日) 09:00～12:00【会場：ANAクラウンプラザホテル金沢】

- 特別講演【公開】(09:00～10:00)
「際化と創造－私の歩み来た道－」
株式会社アイザック 取締役最高顧問
中尾哲雄氏
株式会社インテック社長、会長を経て、平成27年現職。
富山県立大学客員教授、魚津市・富山市名誉市民、他要職多数。
- 「産官学」パネルディスカッション【公開】(10:20～11:40)
「地域と連携するビジネス実務教育－地域のビジネスを活性化する人材育成－」
パネリスト：【産】北陸銀行 経営管理部 副部長 山口秀子氏
【官】石川県/石川県産業創出支援機構 担当部
【学】日本ビジネス実務学会 会長 椿明美
コーディネーター：金城大学 教授 北潟克輔
- 学会奨励賞発表 表彰式 (11:45～12:00)

2. 参加費

※参加申し込み、振込方法については、第2号通信でご案内します。

※名誉会員の参加費は不要です。

大会参加費 (但し、公開プログラム は聴講無料)	正会員	7,000円 ※当日8,000円
	ビジター	4,000円 ※正会員の紹介が必要です。
	学生会員	2,000円
	非会員	8,000円
懇親会参加費		6,000円
昼食代(6月11日)		1,000円

3. 研究発表(申し込み要領)

(1) 発表内容・種類など

発表内容は、学会趣意書に記載された研究領域等に則しており、理論的、実践的に意義深いものとします。

発表の種類については、次の2つがあります。

① 口頭発表

従来の発表形式のとおりです。事前に発表要旨を提出し、当日は登壇して発表を行います。

発表時間については、「発表20分+質疑応答10分」の計30分を制限時間とします。

②ポスター発表

今回新たに設けた発表形式です。研究・実践内容をポスターにして会場に掲示し、ポスターセッション時には、ポスターの前で来場者に説明を行い、発表者と来場者の直接交流を図ります。気軽に発表できる場であり、ネットワークを広げる格好の場ともなります。若手会員にとっては自己アピールの好機です。また、本学会が35年の節目を迎え、教育者の世代交代の時期となっている昨今、キャリアを積み重ねた会員が次代を担う若手会員に対し、今まで培った知の技法を伝授する絶好の機会でもあります。

提出は、申し込み時の要旨だけで、ポスターも当日の持ち込みとなります。

(2) 申し込み

下記の締切日までに、原則としてEメールでお申し込みください。メールのタイトルは「研究発表申し込み」としてください。本文には以下の項目を記載してください。

[注]「ポスター発表」をお申し込みの場合は、⑨から⑩は不要です。

- ①発表の種類： A. 口頭発表 B. ポスター発表
- ②氏名(ふりがな)
- ③所属
- ④発表テーマ
- ⑤要旨(400字程度)
- ⑥研究領域(本学会ホームページ参照:「ビジネス実務の研究対象領域」から選択)
- ⑦連絡先(電話番号・Fax番号・Eメールアドレス)
- ⑧主発表者と共同発表者全員の所属と氏名(共同研究の場合)
- ⑨PC(パーソナル・コンピュータ)使用の有無:(「使用する」または「使用しない」)
- ⑩ポスター発表(口頭発表と同テーマ)希望の有無:(「希望する」または「希望しない」)
- ⑪「学会奨励賞」の対象とする審査希望の有無:(「希望する」または「希望しない」)

※学会奨励賞の審査を希望する研究発表の中から、学会奨励賞(若干名)を選出します。

※前年度の学会奨励賞の受賞者は、今年度は審査対象となりませんので、ご注意ください。

※学会奨励賞にエントリーされた方は、2日目の学会奨励賞授賞式に必ずご出席ください。

申し込み先アドレス: tejima.shinsuke@aichi-toho.ac.jp
日本ビジネス実務学会 第35回全国大会 研究発表担当
愛知東邦大学 手嶋慎介 (中部ブロックリーダー)

◆発表申し込み締切り：2016年2月26日(金)

発表申し込みされた方には、メールで諾否の返信をいたします。また、口頭発表される方には、「大会プログラム・研究発表要旨集」の原稿フォーマットをメールに添付してお送りします。ポスター発表については、「ポスター発表要領」をお送りします。

※ 口頭発表は、会場の都合上25件までとさせていただきます。申し込み多数の場合は、要旨内容に基づき審査することがありますので、予めご了承ください。

※ お一人で複数の主発表はお受けできません。

※ 共同研究者は会員であることが条件です。

※ 申し込み後は、発表テーマ等の大幅な変更はできません。

(3) 「大会プログラム・研究発表要旨集」原稿の提出

事務局からお送りする原稿フォーマットを用いて、「大会プログラム・研究発表要旨集」の原稿を作成し、提出してください。

◆ 「研究発表要旨集」原稿締切り：2016年4月8日（金）

4. 今後の予定

(1) 研究発表の申し込み	2月26日（金）締切り
(2) 全国大会第2号通信の発送およびWebへの掲載	4月5日（火）（予定）
(3) 「研究発表要旨集」原稿の提出	4月8日（金）締切り
(4) 参加申し込み・参加費の振込み	5月12日（木）締切り

5. 連絡先

お問い合わせ・ご連絡は、原則Eメールでお願いいたします。

➤ 大会全般：(会場校)

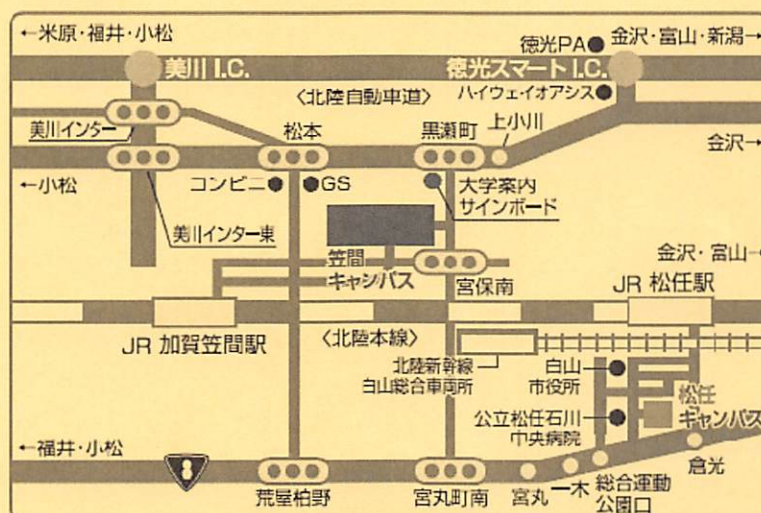
〒924-8511 石川県白山市笠間町1200番地
金城大学短期大学部内
日本ビジネス実務学会 第35回全国大会実行委員会
委員長 岡野絹枝 / 事務局長 若月博延
TEL 076-276-4411 (代表) / FAX 076-275-4183
E-mail: jsabs35@kinjo.ac.jp

➤ 研究発表：(中部ブロックリーダー)

〒465-8515 愛知県名古屋市中東区平和が丘三丁目11番地
愛知東邦大学 経営学部 手嶋慎介
(日本ビジネス実務学会 第35回全国大会 研究発表担当)
TEL 052-782-1241 (代表) / FAX 052-781-0931
E-mail: tejima.shinsuke@aichi-toho.ac.jp

6. 会場までの交通手段

※第2号通信でもご案内いたします。



所在地

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200 番地 金城大学 笠間キャンパス
TEL 076-276-4411 (代) FAX 076-275-4183

交通のご案内

<JR利用の場合>

「金沢駅」まで

- | | | |
|-------------------|------|---------|
| ・東京から北陸新幹線利用で | 所要時間 | 2時間 28分 |
| ・大阪から特急サンダーバード利用で | 所要時間 | 2時間 35分 |
| ・名古屋から特急しらさぎ利用で | 所要時間 | 2時間 59分 |

<航空機利用の場合>

「小松空港」まで

- | | | |
|------------|------|-------------------|
| ・東京（羽田）から | 所要時間 | 1時間 10分（ANA・JAL） |
| ・札幌（新千歳）から | 所要時間 | 1時間 35分（ANA） |
| ・福岡から | 所要時間 | 1時間 25分（ANA・IBEX） |

小松空港から「金沢駅」までは、小松空港リムジンバス利用で約 40 分、1,130 円
「小松駅」までは、小松バス利用で約 12 分、270 円

<「金沢駅」または「小松駅」到着後の本学までの交通手段>

JR「金沢駅」よりJR北陸本線 14 分、「小松駅」より 15 分の「加賀笠間駅」下車
西口を出て、右方向に徒歩約 10 分

<自動車利用の場合>

- ・金沢方面から

国道 8 号線「宮丸町南」交差点を右折して 2 km

- ・北陸自動車道

美川 I.C で下り、金沢方面へ向かい「黒瀬町」交差点を右折して 1.5 km

宿泊のご案内

この度、「日本ビジネス実務学会第35回全国大会」を石川県において開催されるにあたり、全国各地から参加されます皆様方のご便宜を図るため、宿泊の手配・予約を近畿日本ツーリスト(株)金沢支店にてお手伝いさせていただきますこととなりました。

正式には第2号通信でお申込方法などをご説明させていただきますが、事前にお問い合わせ等がございましたら、担当者までご連絡をお願いいたします。

近畿日本ツーリスト(株)金沢支店 担当:山元 智之

お問い合わせ TEL:076-232-0571

(営業時間:平日 9:15~18:00 土日祭日休み)

宿泊施設について

【宿泊機関】2016年6月10日(金) ~ 2泊

【宿泊条件】(お一人様)シングルルーム、1泊朝食付、税金・サービス料込

■ホテルルートイン金沢駅前 【料金】8,500円～

【住所】石川県金沢市昭和町22-5

【アクセス】JR金沢駅 東口から徒歩5分

■ホテル日航金沢 【料金】22,680円～

【住所】石川県金沢市本町2-15-1

【アクセス】JR金沢駅 東口から徒歩3分

■ダイワロイネットホテル金沢 【料金】11,700円～

【住所】石川県金沢市堀川新町2-20

【アクセス】JR金沢駅 東口から徒歩2分

■ANAクラウンプラザホテル金沢 【料金】17,280円～

【住所】石川県金沢市昭和町16-3

【アクセス】JR金沢駅 東口から徒歩1分

■ホテル金沢 【料金】12,000円～

【住所】石川県金沢市堀川新町1-1

【アクセス】JR金沢駅 東口から徒歩1分

■ヴィアイン金沢 【料金】9,000円～

【住所】石川県金沢市木ノ新保町1-1

【アクセス】JR金沢駅構内

■金沢セントラルホテル 【料金】8,500円～

【住所】石川県金沢市堀川町5-3

【アクセス】JR金沢駅 東口から徒歩3分

■ホテルエコノ金沢駅前 【料金】7,500円～

【住所】石川県金沢市此花町8-8

【アクセス】JR金沢駅 東口から徒歩3分

■アパホテル<金沢駅前> 【料金】16,000円～

【住所】石川県金沢市広岡1-9-28

【アクセス】JR金沢駅 西口から徒歩1分

■金沢マンテンホテル駅前 【料金】9,000円～

【住所】石川県金沢市北安江1-6-1

【アクセス】JR金沢駅 西口から徒歩4分

日本ビジネス実務学会

第 35 回全国大会

JSABS

Japan Society of Applied Business Studies

◆ 会 期：2016 年 6 月 11 日（土）・12 日（日）

◆ 会 場：金城大学笠間キャンパス

ANA クラウンプラザホテル金沢

【大会事務局】金城大学・金城大学短期大学部

【E-mail : jsabs35@kinjo.ac.jp】

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200

金城大学短期大学部

Tel: 076-276-4411(代) Fax: 076-275-4183